

静岡  
SHIZUOKA

## 富士山静岡空港開港に向けてのイベント開催

富士山静岡空港開港に向けてのイベントが各地で繰り広げられている。

昨年11月8日(土)、9日(日)の2日間にわたり、空港内において国内最大級の航空スポーツの祭典「スカイ・レジャー・ジャパン&エアポートフェスタ 2008 in 静岡」が開催された。フライト関連イベントや航空機の地上展示は、初日が天候不順であったため、一部中止になったものの、アクロバット機による曲芸飛行では、上空での宙返りや背面飛行などに観客が喝采をあげ、駐機場に並ぶジェット機では多くの航空ファンや家族連れが記念写真を撮るなど、2日間で延べ5万3千人の集客となった。

また、展示ブースにおいては、定期便の就航先である沖縄、福岡やJAL、ANA、FDA(フジドリームエアラインズ)、アジアナ航空などエアラインのPRが行われ、参加者は一足早い就航先との交流を行った。また、開港後は入ることのできない管制塔屋上も開放され、空港全体や



スカイ・レジャー・ジャパン&エアポート フェスタ 2008 in 静岡



静岡・鹿児島往来フォーラム

周辺の山並みなどの眺望を楽しんだ。

一方、11月28日(金)には、静岡市内で鹿児島路線開設を記念した「静岡・鹿児島往来フォーラム」が開催された。討論では、静岡、鹿児島両県の経済人や研究者らが、鹿児島と静岡は、歴史的にも、また茶業など産業面でも交流があり、路線の開設により交流はますます盛んになる。さらに、九州新幹線が全線開通すれば、福岡や熊本との定期便を含めた広域的交流が静岡と九州の間で確立されようというポジティブな考え方が披露された。

スルガ銀行も、昨秋のスルガ・マネジメントセミナー(会場:伊豆市、弊所後援)では旅行博士(韓国で日本送客実績No.1の旅行会社)の申社長を講師に迎えて講演会を開催した。さらに、2月、3月には複数の団体が沼津市、富士市を会場にしたシンポジウムを企画している。富士山静岡空港は、当初予定の3月開港がやや遅れることになったものの、県民をはじめ多くの人々が関心を持っており、早期開港が待たれている。

神奈川  
KANAGAWA

## 平塚市が囲碁通じたまちおこし 全国初の「サミット」も開催

七夕まつりで全国的に有名な平塚市が、新たな「まちおこしの資源」として囲碁の振興に力を入れている。故木谷實九段がかつて市内に道場を構え、囲碁界に多くの逸材を輩出した歴史を発掘。市の施設に映像・展示コーナーを設けたり、商店街とタイアップして囲碁まつりを開いたりしている。昨年10月には全国初の「囲碁サミット」も主催し、囲碁を通じたまちおこしの手応えをつかんだ。

木谷氏は、川端康成の小説「名人」のモデルにもなった囲碁界の傑物。神戸市出身。日本棋院の創設(1924年)に参画し、「新布石」と呼ばれる戦略で一世を風靡した。37年から平塚市に住居と道場を構え、75年に66歳で病没。木谷門下からは大竹英雄名誉棋聖をはじめ石田芳夫九段、武宮正樹九段、趙治勲二十五世本因坊ら50人を超す逸材が輩出。今でも多くの棋士から「囲碁界の父」として慕われ、尊敬されている。

平塚市は「木谷氏を顕彰し、(木谷道場の歴史を)まちづくりに生かしたい」と、96年に市博物館で特別展を開催。併せて日本棋院や商店街などの協力で「湘南ひらつか囲碁まつり」をスタートさせた。05年には市民センターに「木谷実 星のプラザ」を開設、映像ギャラリーや展示コーナーが設けられ、道場の歩みをたどることができる。

こうした動きに呼応し、囲碁をモチーフにした菓子の開発も活発化。砂糖菓子「囲碁のまち ひらつか」(井筒屋菓子店)、白黒二色の「湘南平塚囲碁まんじゅう」(きねや本舗)や木谷氏愛用の碁石を模した「ひらつか囲碁最中」(鷺月堂)などが登場した。

同市のまちおこしの資源としては、毎年7月の「湘南ひらつか七夕まつり」が全国的に有名。終戦間もない51年にスタートした七夕まつりは、地元商店街の頑張りもあって、老舗の仙台と並び称される規模に発展。JR平塚駅周辺には高さ10mを越す大型を含めて約500本、市内全域では3,000本もの七夕飾りが揺れ、会期中300万人前後の見物客が訪れる。



「湘南ひらつか七夕まつり 1,000面打ち大会」は秋の平塚市の風物詩に

10月の囲碁まつりのメインイベント「1,000面打ち大会」も、駅前の商店街で開催される。歩行者天国の道路に延長180mにわたって碁盤を二列に並べ、全国から集まった愛好家が待機。日本棋院所属の棋士らが1人あたり5人程度の愛好家を担当し、多くのギャラリーが見守る中で対局する。秋の風物詩として中心市街地に客を呼び戻すのに大きな役割を果たしている。

最近では漫画「ヒカルの碁」のブームもあり、囲碁愛好家の裾野が広がっていることから、同市はまちおこしの資源として囲碁に再び注目。今回の囲碁まつりに併せて全国初の「囲碁サミット」を主催し、長野県大町、山梨県北杜、広島県尾道など7市の市長らを招いて、先進的・独創的な事例を学び合った。第2回は09年に尾道市で開き、囲碁を通じたまちおこしの全国的な展開を目指す。